

体験と気持ちを読み取ろう

問題 P02

本文

【本文】放課後、私は図書委員の仕事で返却された本を棚に戻していた。窓の外で雨が降り始め、早く帰りたいと思って手を急がせた。最後の一冊を戻そうとしたとき、その本の間から古い貸出カードが落ちた。そこには十年以上前の日付と何人もの名前が並んでいた。私は、同じ本を、知らない誰かも読んでいたのだと想像し、急いでいた気持ちが少しやわらいだ。雨音を聞きながら表紙をなでると、図書館が本を置く場所ではなく、人の時間が静かにつながる場所のように思えた。帰るころには、さっきまでじゃまに思えた雨まで、いつもより落ち着いて聞こえた。

①出来事を整理する

問1 本文を読んで答えなさい。

筆者が本を棚に戻す手を急がせたのはなぜですか。

問2 本文から答えなさい。

最後の一冊の間から落ちたものは何ですか。

②気持ちを読む

問3 最も適切なものを選びなさい。

古い貸出カードを見る前の筆者の気持ちとして最も適切なものはどれですか。

ア 雨を楽しみながらゆっくり帰りたい

イ 仕事を早く終えて帰りたい

ウ 昔の読者について詳しく調べたい

エ 図書館にもっと長く残っていたい

答え _____

問4 本文に即して答えなさい。

筆者の「急いでいた気持ち」が変わるきっかけになったのは何ですか。

③心情の変化

問5 最も適切なものを選びなさい。

「急いでいた気持ちが少しやわらいだ」とあります。このときの筆者の様子として最も適切なものはどれですか。

ア 早く帰ろうという気持ちが弱まり、本や昔の読者のことに心を向けた

イ 委員の仕事をやめたいと思った

ウ 雨が強くなったことに腹を立てた

エ 貸出カードをなくしたことを心配した

答え _____

問6 変化が分かるように答えなさい。

筆者にとって雨は、はじめと帰るころとでどのように感じられるものになりましたか。

④理由と心情を読む

問7 本文に即して答えなさい。

筆者が図書館を「人の時間が静かにつながる場所」のように思ったのはなぜですか。

問8 40字程度で答えなさい。

帰るころ、雨が「いつもより落ち着いて聞こえた」ことから、筆者の気持ちはどのように変化したと考えられますか。